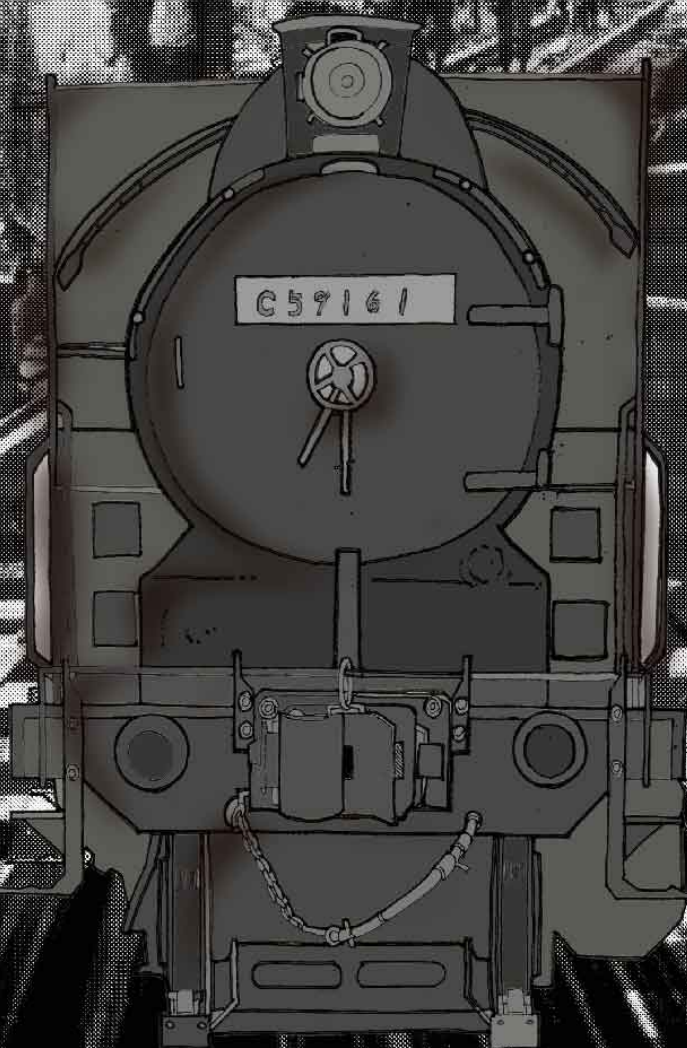
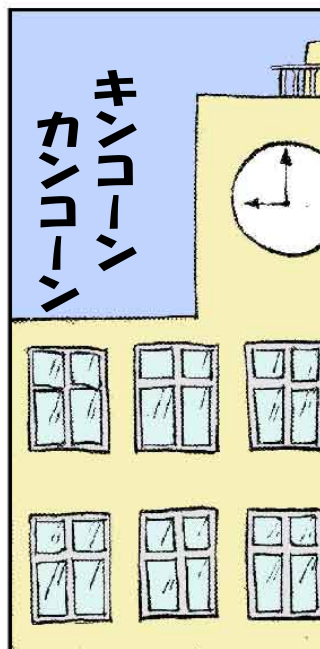


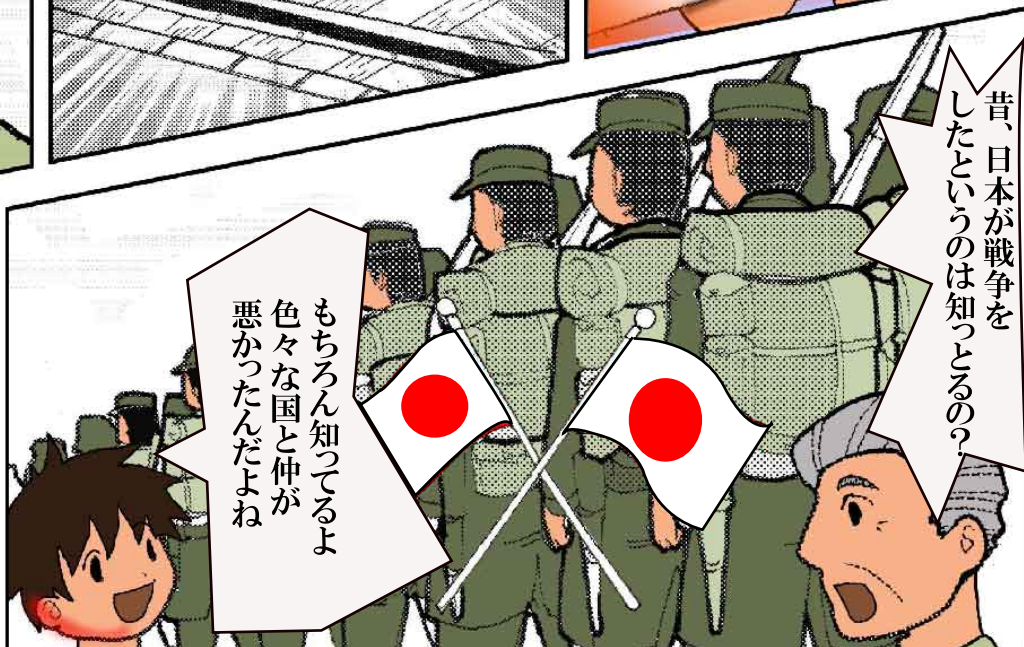
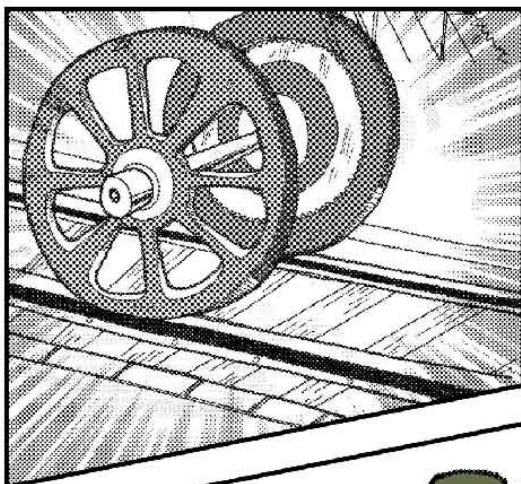
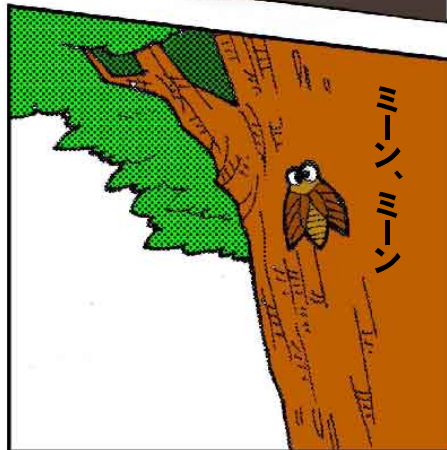
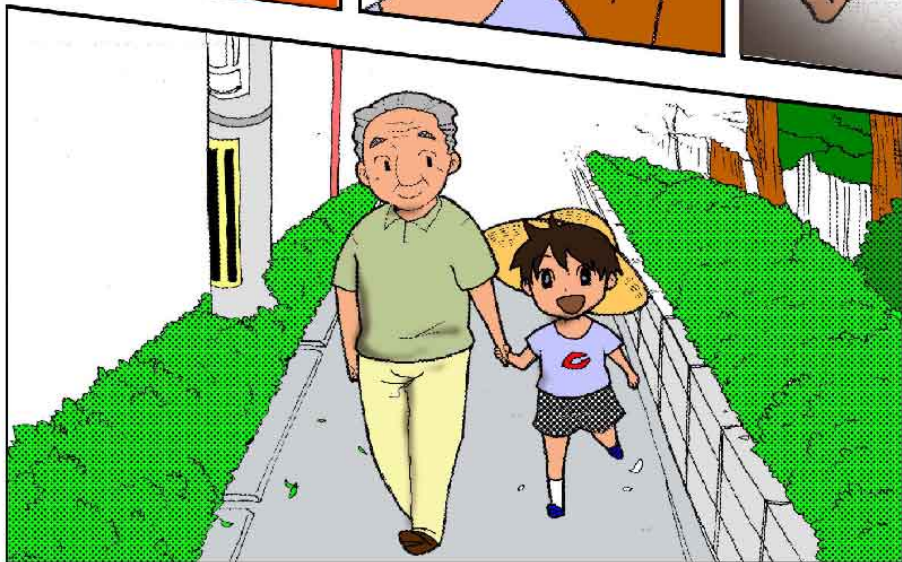
南区七大伝説

鉄道伝説



作画・原作：山新春香、木戸正美
制作：南区魅力発見委員会







ああ、エエよ



戦争について…

これって戦争に関係あるの？
あるんなら詳しく教えて



そうじゃ、日本中から
兵隊さんが広島に
集まってきたんじゃ



戦争のために
たくさん兵隊さんが
海を越えて外国に
行かんじゃ
いけんかったんじゃが
交通の便がよくなった
広島は出発点に
なったんじゃよ。

その話なら聞いたことあるよ
宇品から、たくさん兵隊さんが
船に乗って行ったんだよね

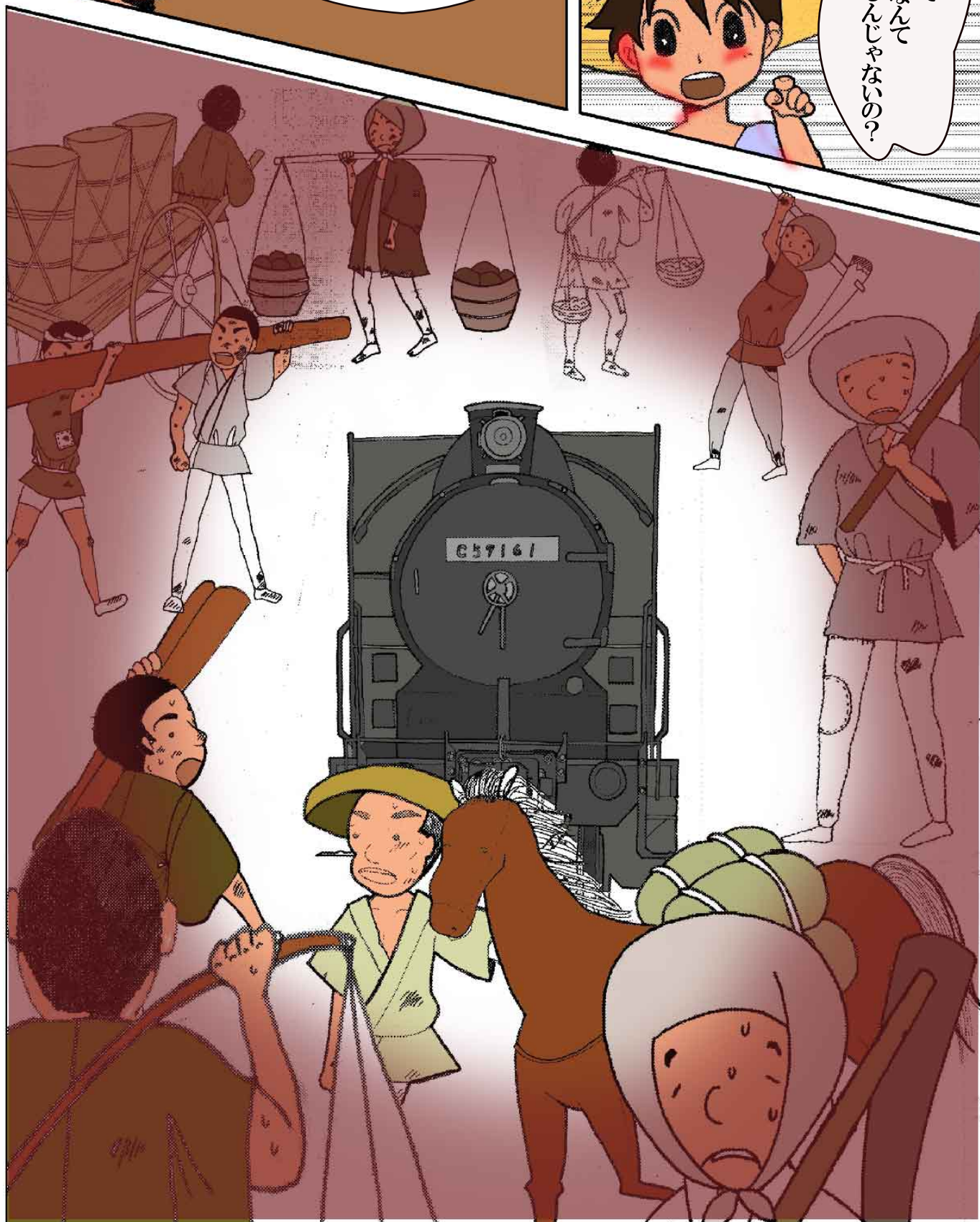


その鉄道の跡が
このモニュメントなんだね



そっか！

それで広島駅と
宇品港をむすぶ
鉄道が必要になったんじゃよ



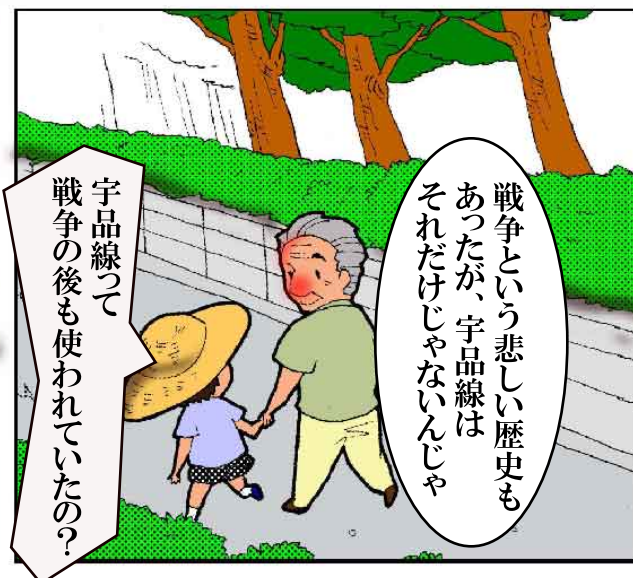


日本最長560mのプラットホーム

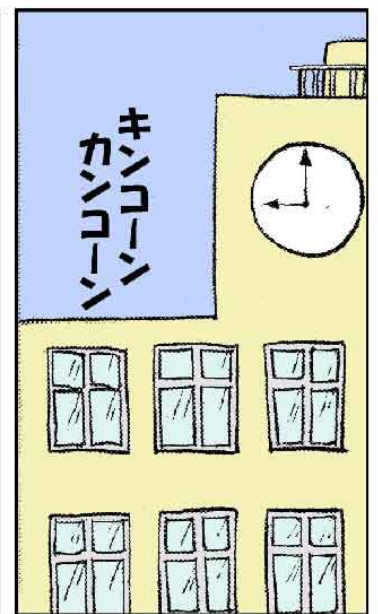
日本一は
それだけじゃないで
プラットホームの長さは
当時、日本一で
五百六十mもあつたんじゃ。
沢山の兵隊さんや物資を
短時間で積み下ろし
するためじゃったんじゃ。

そう、だから戦争は
恐ろしいんじゃ

えー、すごい
力が集まるんだね







宇品線

文／鉄道友の会 横田 勝

◎大河漁港

下大河駅と丹那駅の間には排水ポンプ場があったが（今の翠町小近く）、その土手の向こう側は大きな入り海であった。イワシ漁の船やのり養殖の舟だまりで、舟は丹那橋をくぐって出入りしていた。

現在、この入り海は埋立てられて山城公園となっているが、小高いところの稲荷神社と、小さな胡社が残っている。ポンプ場は近代化されて元の丹那駅近くに移転した。近くに踏切を復元して、遮断機や信号機、ポイントなどが設置されており、当時の宇品線をしのぶことができる。

◎桜土手と埋立て側線

現在の県病院あたりから丹那までは、元の海岸線で、宇品側の干拓がすすんだ後は通称桜土手と呼ばれていた。左右には大きな水溜りが連なっていた。

戦中は中学生がモッコに土を入れて土手をつくる作業に勤労奉仕で動員されていた。昭和20年代宇品線の丹那駅の近くから西方に向って側線がつくられ、機関区からアス（石炭の燃えカス）を積んだ無蓋車が入り込みにしていた。

◎宇品線を走っていた車両

蒸気機関車は、小形の230形や860形C11、C50のほか、本線を走っていたC57、D51などが使用され、末期にはディーゼル機関車のDE10も入線した。

客車は山陽本線と共通のものや、私鉄時代の買収客車、戦後は戦災復旧客車が使用された。戦争により客車が不足し、貨



写真提供：横田勝

◎広島駅から大須口駅まで

広島駅を出てすぐ、愛宕（あたご）踏切の向側に愛宕駅があった。

まっすぐ進み大きく右にカーブして広島機関区に添って南下するとやがて左側から操車場から出てきた貨物線が近づき国道2号を渡ったところで合流すると、やがて大須口駅に入る。広島駅からここまで1キロである。

この近くは、機関区をはじめ国鉄施設が多く鉄道官舎にとりかこまれていた。宇品線は鉄橋を渡り一路宇品までほとんど一直線である



写真提供：横田勝

車も旅客輸送に使用された。特に小口急行便に使用されていたボギー貨車「ワキ1」のドアを開けて固定し、15cm位の角棒を取付けてお客さんの転倒防止をしたものも使用、一時は女性専用車とするなど、戦後の通勤通学輸送に対応した。

気動車は昭和5年12月20日から芸備鉄道ガソリンカーが入線運転され、昭和12年7月芸備鉄道が国鉄に買収されてからは、国鉄のキハ41000が使用され、その後昭和29年3月からはディーゼルカーのキハ41500形（04・05・06形等）が使用された。

◎日本一長かった宇品駅ホーム

宇品駅の貨物ホームは560mあり、山陽線走る貨物列車をそのまま横付けして荷役できる長さで当時から日本一の長さであった。



写真提供：長船友則



下丹那駅

– 10 –

宇品線が設置された時代

南区魅力発見委員会風土記編さん部会 脇 勳

日清戦争と宇品

明治27年(1894)8月1日 日清戦争が勃発しました。この直前、6月8日に陸軍運輸通信部宇品支部が設置され、宇品の海岸地帯に倉庫や岸壁の施設が整備されて、軍隊や軍需品の船舶輸送の準備が進んでいました。また、同年6月10日には、山陽鉄道が広島まで開通していました。

日清戦争が起ったため大量の兵員や物資を輸送する必要が発生したので、急遽、広島停車場から宇品まで軍用鉄道を敷設することとなりました。

この工事は、山陽鉄道株式会社が陸軍省の委託を受けて突貫作業で実施しました。8月4日起工、8月20日完成までわずか17日間で約6kmの工事を成し遂げるといふ大記録を達成したのです。なお、プラットホームの長さ

は最終的に560mになり、これも当時としては日本一の長さであったといわれています。

この軍用鉄道(後の宇品線)が、日清戦争で果たした役割は非常に大きなものでした。

上記のごとく、宇品の陸軍軍港化に伴い、似島(当時は安芸郡仁保島村似島)に陸軍検疫所が創設されました。

旧宇品線が伝説として語られることの詳細については前出のとおりですが、この時期、広島にとっては日本の中でも特筆すべき時代です。宇品線が設置された時代について簡記しておこうとします。

広島に大本営を設置

明治天皇は、明治27年9月15日から広島に行幸され、広島に大本営を設置されました。明治28年4月17日清国との間で講和が成立

したので、同4月27日広島を発たれ京都へ向かわれました。

大本営が東京、京都以外の地に進転されたのは、この時の広島だけというこのようです。

広島県と広島市では、このことを記念して明治29年(1896)から9月15日を大轟進転記念日4月27日を大轟還幸記念日と定めました。

広島市では明治31年(1898)から小学校では9月15日には式を挙げ、大轟進転の歌(奉迎歌)を斉唱し、4月27日には大轟還幸の歌(奉送歌)を斉唱したりしていました。(注)大轟天皇旗

広島で「臨時第7帝国議会」開院

天皇が広島に行幸中であるため、明治27年

10月18日西練兵場の仮議事堂で「臨時第7帝国議会」が開院され、10月22日閉院されました。これも異例のできごとでした。

臨戦地指定と戒厳令

明治27年10月5日広島市全部および宇品を臨戦地境と定め、戒厳令が敷かれ、第5師団留守師団長山沢陸軍少将が戒厳司令官に任命されました。(師団本部は出征中)

ここで特記したいことは、臨戦地として広島市全部を指定しながら、さらに「および宇品」と指定されている事実です。

これは軍用鉄道により、いかに多くの兵員、軍需品が宇品に運ばれ、備蓄されたかということ、史上初と言われる多数の外航船が軍隊と物資の輸送のために宇品港に集結したかを物語る事実として特記するに当るべきことであつたと考えられます。

宇品線の沿革

- 1894. 8. 1 日清戦争勃発。
- . 8. 4 宇品線の仮設工事に着手。
- . 8. 20 仮設工事完成、広島一宇品間開通。
- 1897. 5. 1 山陽鉄道宇品線を陸軍省より借り受け、改築工事の上、運輸営業を開始。
- 1902. 12 宇品駅を100m西に移す。
- 1915. 8. 1 宇品線が軍の専用線となり、一般営業を廃止。
- 1919. 8. 1 宇品線の線名を廃止し、山陽線に所属させ旅客運輸を廃止、貨物線となる。
- 1930. 10. 23 宇品線の線路を共用を芸備鉄道に対し承認。
- . 12. 20 芸備鉄道において広島一宇品間にガソリン動車を運行、旅客運輸を開始。
- 1931. 3. 20 南段原駅開業。
- . 11. 25 下大河駅開業。
- 1935. 8. 1 宇品町に広島鉄道局を開設。
- 1937. 7. 1 芸備鉄道を国鉄に買収、宇品線の旅客営業権を回収。
- 1945. 8. 6 原子爆弾投下。
- . 8. 7 宇品線夕刻に開通。
- 1948. 6. 12 宇品線に婦人専用車連結運転。
- 1954. 3. 10 宇品線にディーゼルカー一運転開始。
- 1960. 3. 20 宇品線運輸区設置。
- 1962. 4. 16 南段原、上大河両駅の業務を部外委託
- 1965. 12 宇品線の全面廃止に向け地元と協議。
- . 12. 19 上大河一宇品間の旅客営業を廃止。但し広島一上大河間は定期旅客のみを取り扱うこととし、機関車を前後に配し旅客を運行。
- 1970. 12. 19 宇品線問題協議会発足。
- 1972. 4. 1 宇品線の第二次廃止。東広島一宇品貨物取扱所間の貨物運輸は「宇品四者協定線」の入れ替え便として運転。
- 1986. 9. 30 宇品線を廃止。

資料提供: 鉄道友の会

宇品線の足跡をたどる

モニュメント
MAP



南段原駅附近の公園

宇品線公園と名づけられた段原南第五公園。ここには宇品線にちなんだ駅名表示板と銅版が置かれている。

ポップ広場

下大河駅があった場所に住民からの発案でポケットパークとして平成13年に誕生



当時の枕木が残る場所

南警察署の前にある宇品線の枕木を見ることができる。市民の手により花が植えられている。



宇品駅



広島駅
0番ホーム

安芸愛宕駅

東段原駅

南段原駅

大須口

広島駅
貨物ホ

上大河駅

被服支廠前駅（戦後）

比治山駅（戦前）

下大河駅

丹那駅（戦後）

下丹那駅

段原中学校前 のモニュメント

南段原駅を使い通学した子ども達の想いが、惜別の文字に込められている。



線路モニュメント

南警察署交差点の北東側に警報機・遮断機・短いホームがモニュメントとして残っている。



旧陸軍糧秣支廠倉庫の記念碑

日清戦争当時に、兵隊の食料や軍馬の飼料を調達、補給するために宇品駅に沿って建てられていた。



モニュメント色々

宇品中央公園には国民唱歌「みなと」の記念碑をはじめ、旧陸軍運輸部の碑がある。